

令和7年度 長崎市立西浦上中学校 学力向上プラングランドデザイン

保護者との連携・協働

- ・西中まるわかりガイドによる学校把握
- ・西中ノートやテスト振り返りのチェック
- ・三者面談や教育相談の充実

【学校教育目標】

心豊かで心身ともにたくましく
主体的に行動できる生徒の育成

地域との連携・協働

- ・地域行事への積極的参加
- ・地域人材の活用
- ・地域への積極的な情報発信

学校の取組

生きて働く 知識・技能

何を理解しているか
何ができるか

育成を目指す資質・能力

学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性

どのように社会・世界と関わ
り、よりよい人生を送るか

未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現

理解していること
できることをどう使うか

【研究主題】

個に応じた教育実践をとおした確かな学力と豊かな心を兼ね備えた生徒の育成

西浦上中学校の職員は…

「進んで生徒を理解し、長所を伸ばす指導」
に努めます。



西浦上中学校の職員は…

「落ち着いた教室や学校環境の整備」
に努めます。

西浦上中学校の職員は…

「課題とまとめを明確にした学習指導」
に努めます。

西浦上中学校の職員は…

「タブレットを活用した授業の推進」
に努めます。

1 学習規律…「西浦上中学びのルール」

- 一 学習準備は授業前、机の左上に
- 二 3分前着席、1分前学習
- 三 あいさつは心を込めて、しっかりと！
- 四 指名されたらまず返事！
- 五 発表は大きな声ではっきりと！
- 六 大事なことはメモをとって！
- 七 聞くときは、作業をやめて、体ごと。相手の目を見て、うなずこう！

2 学習習慣の確立…1日1P以上の自主学習

- ・自ら知りたいことや課題を定め、解決する方法を考え、取り組む学習
- 二 朝学習や長期休業中のタブレットを使った学習

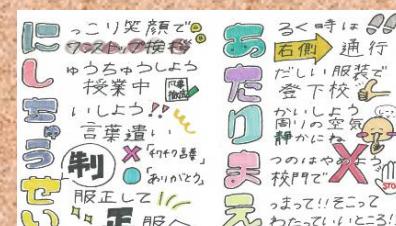
4 心の教育…「特別な教科道徳を中心とした教育」

…特別な教科道徳を中心とした教育活動全体で取り組む道徳性の養成

3 生活習慣の確立…

- ①「西中パーカーフェクトチャレンジ」
- 一 きれいにそろった下足並べ
- 二 自主学習ノートの全員提出
- 三 時間を守った無言配膳
- 四 3分前着席

②「西中生あたりまえ」



«数値目標» 学力調査の全ての項目で、全国、県、市の平均を超える (+ 3 ポイント以上)

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の肯定的な割合を 85 % 以上にする。(生徒質問紙) ※今年は 81.7%

2023年度 学力・学習状況調査の結果 (学力調査は、国、県、市の平均との比較) «±3は表記なし、○は3以上プラス、×は3以上マイナス)

3年 国語↑ (知識・技能、思考・判断・表現) 数学↓ (知識・技能×、思考・判断・表現×) 英語↓ (知識・技能、思考・判断・表現×)

2年 国語↑ (知識・技能○、思考・判断・表現) 数学↓ (知識・技能×、思考・判断・表現○)

各教科でつけさせたい力とその力をつけるための手立て

教科名	つけさせたい力	その力をつけるための手立て
国語科	・相手に伝わるように、根拠を明確にして、自分の考えを書く力	①P R E P法を使った作文の仕方について指導する。 ②今年度「書くこと」の指導に使った資料や、これまでに使った資料を「R 6国語」の教科用ホルダーで共有し、今後の指導に活用する。
社会科	・知識の定着 ・資料を読み取る力 ・自分の考えを説明する力	・前時の内容の確認テスト、小単元テストを活用し、知識の確実な定着を図るとともに、その中に時折グラフ、資料を読み取る問題も挟み、思考力表現力の向上を目指す。
数学科	・基礎学力の定着 ・表現力の育成	・キュビナで月200問を目標に毎月取り組ませる ・自分の言葉でまとめたり、レポートを書かせる場面を各単元で一回以上作る
理科	・実験・観察の結果をもとに規則性や法則性を考察・表現できる力	実験、観察を通して、結果を体感することで生きた知識を得る機会を増やす。その結果をもとに話し合いや演習に取り組ませることで思考を深める場面、考えたことを文章で表現する機会を多く設ける。
音楽科	・思いや意図をもって自分の言葉で説明する活動を取り入れることにより、主体的に音楽のよさや美しさを感じ取り、表現する力を身に付ける。	生徒一人一人の感性を大切にし、表現するためのメソッドを分かりやすい言葉で伝える。また、楽譜に書かれていることをアナリーゼすることで、作曲家の意図をくみ取り、音楽づくりの楽しさや奥深さを体感させる。
美術科	・基礎基本の定着、イメージ力	美術用語・美術史の定着のための小テスト。 対話的な関わりを通して、マッピング等を使ったイメージの広がりのトレーニングを行う。
技術家庭科	・小学校の内容と関連付けながら、系統的な学習を行い、生活と技術について基礎的な理解・技能の定着を図る。	知識・技能を生かした実践的・体験的活動を行い、実生活や社会の新たな課題を発見・改善する力を育み、達成感を味わわせる。
保健体育科	・個人やチームの課題を明確にし、その解決方法について根拠を示しながら発表したり、練習方法を考えたり、ゲームに活かしたりすることができる。	クロムブックの動画撮影を活用して、自分のフォームやチームの動きを客観的に見ることでそれぞれの課題に気づかせ、「できる」「できない」の根拠を明らかにさせる。それをもとにネットで正しいフォームや練習方法を調べさせ、課題解決につなげる。
外国語	・自分の考え方や気持ちを、接続等を用いて、根拠を示しながら話したり答えたりする力を育てる	○スモールトークを帯活動で行い、自分の考え方や意見を即興で伝える場面を設定する。 ○単元活動を通して、既習文法を使用しながら、自他の意見を聞いたり、伝えたりする場面を設定する。

目指す生徒
の姿

自分の考えを根拠をもつて表現する